授業科目名[英語名]							
異文化理解とコミュニケーション[Cross-Cultural Understanding & Comunication]							
担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]							
尾崎　由美子[099-229-9606]							
E-Mail	yumiko@ozakit.sakura.ne.jp		受講対象	全			
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 1分野	開講期	前期火曜2	単位等	2
共同担当教員名							

教育目標のキーワード

コミュニケーション能力と相互理解/視野・判断力・探求能力

学習目標 (学生の達成　目標)

文化が国籍や民族によってのみ固定されているものではないことを理解し、多様な文化に対応できるようなコミュニケーションの在り方について、講義および演習を通じて認識を深め、コミュニケーション能力の向上を図る。

授業概要 (目的・内容・方法)

近年、コミュニケーション能力の低下が問題となっているが、その原因の一つに他者との関係づくりを必要とする場が減少していることが背景にある。そこでこの授業では、他者との関係づくりを次のステップで意識的に学ぶことで、人間力の一助とすることを目指す。まず外国人を対象とする日本語教育の現場の事例を提示し、その検証によって、多様な文化の一つとして自己が存在することを理解し認識する。そして、他者を理解し、自己を理解し、自己を開示するというコミュニケーションの各要素を見つめなおすことによって、自分にとってのよりよいコミュニケーションを作り上げる。なお、この授業は異文化理解を必要不可欠とする日本語教育の事例を中心に進めていく。

授業計画 (15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)

第一回　ガイダンス
第二回　アイデンティティ
第三回　自己開示
第四回　異文化接触
第五回　ステレオタイプ
第六回　価値観
第七回　コミュニケーションギャップ（情報差）
第八回　対人コミュニケーション(1)
第九回　対人コミュニケーション(2)
第十回　多文化共生
第十一回　日本語教育とコミュニケーション(1)
第十二回　日本語教育とコミュニケーション(2)
第十三回　コミュニケーションと自己発見(1)
第十四回　コミュニケーションと自己発見(2)
第十五回　まとめ

受講要件	特になし		
評価基準および方法	出席(10%)、ミニレポート(30%)、発表(30%)、最終レポート(30%)		
教科書	指示する	**参考書**	徳井厚子『多文化共生のコミュニケーション　日本語教育の現場から』（アルク）他
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	指示する	**その他**	